

第1回円空大賞円空賞

Walter Bailey (ウォルター・ベイリー)

プロフィール

国籍：イギリス

生年：1960年

職業：彫刻家



作家略歴

1992年：「TouchingWood」(作品)をダラムに貯蔵保管と展示。

1993年：「SculptureinEducation」をイグタム居住地にオブジェとして設置。

1994年：「SculptureinEducation」をGoodwood&TheWeald&Downland 森林公園とStourValleyに寄贈。

1995年：Worthing 美術館にて展覧会とワークショップを開催。

KingVal. W. Sussex 景観オブジェ国際コンテストにてEnglishNature 賞を受賞。

1996年：イーストサセックス州議会の依頼により、森林博覧会に彫刻を出品。

1997年：E. Sussex 州の St. リチャード病院・ダートフォード自治都市協議会・モンゴメリーインド総督代理公邸・Snells 農業果樹園にオブジェを依頼され設置。

インターナショナルアースの依頼より、ニューヨーク・アースサミット11会場に氷の彫刻を制作

1998年：サセックス大学・ガードナーアートセンター主催のブライントンフェスティバルに「ShadowatGate」を出品。タウンナーアート&サセックス州主催により、「放浪の幻影」の展覧会を開催。ナショナルダンブレン記念碑を制作。

1998年

-99年：「AbsoluteZero」氷の彫刻とダンスのコラボレーションをブライントンフェスティバルにて出品。

1999年：クランブルック/クィーンホール劇場/オーストリア/クラフトプラザラス彫刻公園に彫刻を依頼され設置。

2000年：ミレニアム・シーズ銀行にて公共のための彫刻の展示会を開催。ブライントンのコミュニティグループと地元の企業家との共同制作により、公共のための彫刻を制作。Waverly 自治都市協議会に公共のための彫刻を制作。

受賞理由

- ・ウォルター・ベイリー氏はネイチャー・アーティストとして名を馳せ、作品は主に木材や氷を使用した彫刻物であり、素材の性質を生かして、チェーンソーを使用するという独自の手法により、森羅万象を表現している。
- ・おもに、「変化」「バランス」「解放」を制作コンセプトとしており、様々な公共彫刻を制作するとともに、真実を考え、真実と対話しながら自然を表現することをねらいとし、その作品のスケールの大きさと美しさは見る者に大きな感銘を与える。
- ・自然と人を愛するベイリー氏は、その尊敬と連帯の念を自身の作品へと昇華している。形にとらわれない技法と完成により、魂の解放、孤独、季節の移り変わりなどを次々に大衆に向けて具現化していくその姿は、円空に通じるものがある。
- ・ベルギーのアントワープ市で開催された円空展では、円空彫刻のワークショップを開催するなど、その作品と精神は円空を彷彿とさせる点で、円空賞の受賞者としてふさわしい人物である。

